

ちきゅうフレンズ
「ケニアと生き物」編
参考アクティビティ





動物の暮らしを知ろう

狙い

- 動物の見た目だけでなく、生き物としての暮らしや生態を理解し、興味を持つ

実施場所

- どこでも

用意するもの

- 動物の図鑑
- PC（インターネット）
- 調べたことをメモする紙

内容

- ① 可能であれば、事前に、教材4「なんでにんげんのところに」を実施し、動物には動物の住む場所や、餌を食べられる環境がそれぞれ異なり、大事であることを伝える
- ② 園にある動物図鑑やインターネットを使って、自分の好きな動物の生態を調べる。その際に、調べる項目として「住む場所」「主に食べるもの」「子どもの育て方」など、見た目的な特徴だけでなく、人間や人間の暮らしと比較しやすい項目は含める
- ③ 調べたことを絵にしたり、文で画用紙に書く。できれば、みんなで発表しあう



『ケニアと生き物』 参考アクティビティ

幻の動物園をつくろう

#02



関連ゴール



狙い

- 絶滅危惧にある動物に関心を持つ

実施場所

- どこでも

用意するもの

- 画用紙、ダンボール、折り紙など
- クレヨン/色鉛筆

内容

- ① 絶滅危惧種（以下参考サイト）を調べて、子どもたちがそれぞれ、そこから好きな動物を選ぶ
- ② 画用紙にその動物を描き、空き箱や段ボールなどの型紙にはりつけて、立てられるようにする あるいは 折り図のあるものは折り紙で表現してもよい
- ③ 一か所に集めて動物園のようにする。みんながどういった動物をつくったか、会話しながら遊ぶ



(参考)
動物の折り図 <https://origaminojikan.com/creatures/animals>
絶滅危惧種 <https://cococolor-earth.com/endangered-species/>

動物でできているものをさがそう



関連ゴール



狙い

- 動物が自分たちの生活の色々なところ活用され、支えられている事に気付く

実施場所

- どこでも

用意するもの

- 動物でできているもの
- 園やおうちで動物を使った製品
- 調べたことをメモする紙

内容

- ① 事前に、教材2「どうぶつをきずつけるひと」を実施し、密猟者がお金のためにサイの角を獲ったりすることを伝える
- ② 一方、密猟でなくとも、自分たちのまわりのものが動物でできたりすることを伝える（例として次頁）
- ③ おうちにあるものなど、自分たちのまわりのもので、動物でできているものを探して、文や絵を描いてくる/調べてきたうえで、園で描く
- ④ どんなものがあつたかをみんなで発表し、様々な製品が動物でできていることをみんなで気づく



(参考) 動物でできているものの例



毛皮・セーターなどの衣類 布団



使われている動物

- フォックス (狐)
- 兎
- 羊
- アライグマ
- グース
- アヒル など

鞆・財布などの皮革製品



使われている動物

- 牛
- 馬
- 豚
- ワニ
- ヘビ など

その他製品



使われている動物

- 象 (象牙→印鑑)
- 蚕 (繭→シルク) など



昔いた生き物を知ろう

狙い

- 自分たちの町を題材に、今は見かけない生き物などの話を聞き、環境を維持する大切さを考える

実施場所

- どこでも

用意するもの

- 保護者など、古くから地域に住んでいる方 / 資料館などがあれば学芸員の方の協力

内容

- 園のある町に昔からずっと住んでいらっしゃる方、もしくは、自然資料館などが町にあれば、その方にご協力をお願いします
- その方から、数十年前の町や、今の園がある場所の様子や、その時にいた生き物の様子（例えば、住宅地になっているような場所が昔は田んぼで、アメンボやカエル、フナが住んでいた）などを話しをこどもたちにしてもらう
- その際に、できれば、前の町の写真や、昔住んでいた生き物の写真があるとより伝わりやすい（生き物の写真については、インターネットでその場で調べて投影してもよい）

（参考）数は少ないですが、今と昔の町の写真比較サイト「今昔フォトものがたり」<https://konjaku-photo.com/>

